

JIS

システム及びソフトウェア技術— ライフサイクルプロセス—リスクマネジメント

JIS X 0162 : 2024
(ISO/IEC/IEEE 16085 : 2021)
(JSA)

令和 6 年 8 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

一般財団法人日本規格協会 情報分野産業標準作成委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|----------------------------------|
| (委員長) | 渡 邊 創 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| (委員) | 相 蘭 敏 子 | 株式会社日立製作所 |
| | 安 形 輝 | 亜細亜大学 |
| | 西 城 武 志 | 総務省国際戦略局 |
| | 寺 田 真 敏 | 東京電機大学 |
| | 中 島 昭 能 | 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 |
| | 中 上 直 子 | 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 |
| | 仲 谷 文 雄 | 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 |
| | 福 田 昭 一 | 富士通株式会社 |
| | 松 田 充 弘 | 独立行政法人情報処理推進機構 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：令和 6.8.20

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 6.8.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

素 案 作 成 者：一般社団法人情報処理学会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館)

審 議 委 員 会：情報分野産業標準作成委員会 (委員長 渡邊 創)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|--|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 1.1 概要 | 1 |
| 1.2 目的 | 2 |
| 1.3 適用分野 | 2 |
| 2 引用規格 | 3 |
| 3 用語及び定義 | 3 |
| 4 適合性 | 6 |
| 4.1 意図した用途 | 6 |
| 4.2 情報項目への適合 | 6 |
| 4.3 プロセスへの適合性 | 6 |
| 4.4 完全適合 | 6 |
| 5 主要な概念及び適用 | 6 |
| 5.1 主要な概念 | 6 |
| 5.2 適用 | 9 |
| 6 リスクマネジメントプロセス | 11 |
| 6.1 目的 | 11 |
| 6.2 プロセス | 11 |
| 6.3 成果 | 13 |
| 6.4 アクティビティ及びタスク | 13 |
| 7 ライフサイクルプロセスにおけるリスクマネジメント | 22 |
| 7.1 概要 | 22 |
| 7.2 合意プロセスにおけるリスクマネジメント | 22 |
| 7.3 組織のプロジェクトイネープリングプロセス群におけるリスクマネジメント | 24 |
| 7.4 テクニカルマネジメントプロセスにおけるリスクマネジメント | 28 |
| 7.5 テクニカルプロセスにおけるリスクマネジメント | 34 |
| 7.6 修整プロセス | 44 |
| 8 情報項目 | 44 |
| 8.1 リスクマネジメント計画 | 44 |
| 8.2 リスク対応計画 | 46 |
| 参考文献 | 48 |
| 解 説 | 51 |

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS X 0162:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

システム及びソフトウェア技術— ライフサイクルプロセス—リスクマネジメント

Systems and software engineering— Life cycle processes—Risk management

序文

この規格は、2021年に第1版として発行されたISO/IEC/IEEE 16085を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

この規格は、JIS X 0170及びJIS X 0160に規定されているリスクマネジメントプロセスの詳細規格である。この規格は、これらのライフサイクルプロセス国際規格と整合性を保って、箇条6のリスクマネジメントプロセスのタスク及びアクティビティの要求事項を提供する。この規格は、リスクマネジメント計画(8.1)及びリスク対応計画(8.2)の内容の定義を提供する。また、この規格は、リスクマネジメントの成果、アクティビティ及びタスクが他のプロセスにどのように関連するかについての指針を提供する。

この規格は、リスクマネジメントの継続的なプロセスを規定する。箇条1では、概要、目的、適用範囲、及び適用分野について規定する。箇条2は、引用規格を示す。箇条3では、用語及び定義を規定する。箇条4では、適合基準を規定する。箇条5では、主要な概念及び他の国際規格との適用について規定する。箇条6は、JIS X 0170又はJIS X 0160で要求されるリスクマネジメントプロセスを規定する。箇条6では、リスクマネジメントプロセスに要求される目的、成果、タスク、及びアクティビティについても、箇条7で説明されるような統合された方法でシステム及びソフトウェアエンジニアリングプロジェクトに適用するために定義し、箇条8で説明する情報項目を規定する。箇条7は、幾つかの典型的なリスク、幾つかの典型的な機会、及びそれぞれのライフサイクルプロセスに対する幾つかの典型的なリスク対応を規定する。箇条8は、リスクマネジメント情報項目の内容を規定する。参考文献には、この規格によって参照されるか、又はこの規格の利用者に利害関係の参考規格を一覧表示する。

1 適用範囲

1.1 概要

この規格は、次を規定する。

- JIS X 0170及びJIS X 0160に規定されている諸プロセスのリスクマネジメントの詳細を提供する。
- JIS X 0170、JIS X 0160及びそれに関連する詳細規格の利用者に対し、システム及びソフトウェアエンジニアリングプロジェクトの適用状況の中でリスクマネジメントを行うための一般的な用語及び専門的な手引を提供する。